



住民意向調査速報版（川内村、飯舘村、双葉町）の

公表について

川内村、飯舘村、双葉町の住民を対象とした住民意向調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

川内村

調査主体 復興庁、福島県、川内村
調査対象 全世帯主（1,294世帯）
実施期間 平成27年12月7日～12月21日
回答者数 572世帯（回収率44.2%）

飯舘村

調査主体 復興庁、福島県、飯舘村
調査対象 全世帯主（2,970世帯）
実施期間 平成27年12月7日～12月21日
回答者数 1,341世帯（回収率45.2%）

双葉町

調査主体 復興庁、福島県、双葉町
調査対象 全世帯主（3,377世帯）
実施期間 平成27年12月14日～12月28日
回答者数 1,672世帯（回収率49.5%）

2. 調査結果のポイント

別紙1、2、3のとおり

本件連絡先

（原子力災害復興班）川内村担当：伊藤、鴨志田

飯舘村担当：村上、徳竹

双葉町担当：石川、徳竹

電話：03-5545-7369（直通）

川内村調査結果のポイント

- ・現在の居住状況や今後の居住希望、今後の生活において求める支援等の基礎的情報収集等を目的に実施。
- ・復興庁、福島県、川内村の共同調査は2回目。
- ・現在の住まいの場所について、避難指示が解除された区域では「震災発生当時の住居」の割合は4割程度と前年度調査に比べ約2倍に増加。

(1) 現在の住まいの場所

	全体	うち避難指示が解除された区域
震災発生当時の住居	46.6%[261]	38.5%[45]
震災発生当時の住居以外	26.6%[149]	29.9%[35]
震災発生当時の住居とそれ以外の住居を 行き来している	17.7%[99]	14.5%[17]

※ []内は実数(単位:世帯)

(2) 震災発生当時の住居以外に住んでいる理由(上位3項目)

<(1)現在の住まいの場所で「震災発生当時の住居」以外を回答した方>

	全体	うち避難指示が解除された区域
震災発生当時の住居周辺は放射線量の 高さが心配だったから(心配だから)	40.7%	44.2%
通勤・通学等がしにくいから	24.2%	5.8%
震災発生当時の住居周辺に住む人が少 ないと思ったから(思うから)	20.6%	36.5%

(3) 今後の住まい

<現在のお住まいが「震災発生当時の住居」以外の方((4)も同様)>

	全体	うち現在避難指示 が出ている区域と 解除された区域
村内	42.7%[111]	40.6%[26]
判断がつかない	33.1%[86]	23.4%[15]
村外	21.2%[55]	29.7%[19]

※ []内は実数(単位:世帯)

(4) 今後の住まいを判断する上で必要な情報(上位5項目)

<(3)今後の住まいで「判断がつかない」と回答した方>

道路・鉄道・学校・病院などの社会基盤(インフラ)の復旧時期 の目途	45.3%
医療・福祉環境の充実	41.9%
どの程度の住民が戻るかの状況	31.4%
原子力発電所の安全性に関する情報(事故収束や廃 炉の状況)	29.1%
放射線量の低下の目途、除染成果の状況	26.7%

飯舘村調査結果のポイント

- ・復興公営住宅のニーズ把握、将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、村の復興計画検討のための基礎的情報収集等を目的に実施。
(記名式)
- ・復興庁、福島県、飯舘村の共同調査は4回目。
- ・避難指示解除後の帰還意向については、「戻りたいと考えている」の割合が増加(+3.4%)、「戻らないと決めている」の割合も増加(+4.7%)

(1) 復興公営住宅の入居意向

入居希望※	10.8%(144世帯)
現時点では判断できない	15.2%(204世帯)
入居を希望しない	69.0%(925世帯)

※ 「既に当選または入居が決定している」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居申し込みしたい」の合計値。

(2) 避難指示解除後の帰還の意向

戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	32.8%(29.4%)
まだ判断がつかない	24.0%(32.5%)
戻らないと決めている	31.3%(26.6%)

※ (カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H27.1)結果

(3) 避難指示解除から飯舘村に戻るまでの期間

解除後すぐに戻りたい(1年以内)	40.5% (30.8%)
3年以内	18.0% (17.3%)
5年以内	4.8% (5.3%)
10年以内	2.0% (2.4%)
時期は決めてないがいずれ戻りたい	31.6% (41.6%)

※ 避難指示解除後の帰還の意向で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方

※ (カッコ)書きは、それぞれ前回調査(H27.1)結果

(4) 帰還しない理由(上位抜粋)

避難先の方が生活利便性が高いから	57.1%
医療環境に不安があるから	52.4%
宅地・農地以外の山林や河川等の除染がまだだから	51.2%
放射線量が低下せず不安だから	49.8%

※ 避難指示解除後の帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方

双葉町調査結果のポイント

- ・ 復興公営住宅のニーズ把握、将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、町の復興計画検討のための基礎的情報収集等を目的に実施。
(記名式)
- ・ 復興庁、福島県、双葉町の共同調査は4回目。
- ・ 避難指示解除後の帰還意向については、「戻りたいと考えている」の割合が微増(+1.0%)、「戻らないと決めている」の割合は微減(▲0.7%)

(1) 復興公営住宅の入居意向

入居希望※	10.8% (181 世帯)
現時点では判断できない	12.7% (213 世帯)
入居を希望しない	70.0% (1,170 世帯)

※ 「既に当選または入居が決定している(入居している)」、「入居の申し込み中である」、「今後、入居の申し込みをしたい」の合計値

(2) 復興公営住宅の入居に当たり希望する居住地 (上位抜粋)

いわき市	47.0% (85 世帯)
郡山市	19.9% (36 世帯)
南相馬市	10.5% (19 世帯)

※ 「復興公営住宅の入居に当たり希望する居住地」の割合は、「1世帯目」と「2世帯目」との合計値

(3) 避難指示解除後の帰還の意向

戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)	13.3% (12.3%)
まだ判断がつかない	20.7% (27.9%)
戻らないと決めている	55.0% (55.7%)

※ (カッコ)書きは前回調査(H26.9~10)結果

(4) 帰還時期 (帰還まで待てる年数)

3年以内	11.2% (22.0%)
5年以内	26.9% (19.2%)
10年以内	10.3% (11.7%)
帰れるまで待つ	46.2% (42.1%)

※ 避難指示解除後の帰還の意向で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方

※ (カッコ)書きは前回調査(H26.9~10)結果

(5) 双葉町とのつながりを保ちたいか

そう思う	59.6%
わからない	25.6%
そう思わない	6.0%

※ 避難指示解除後の帰還の意向で「まだ判断がつかない」、「戻らないと決めている」と回答した方